

友達に対して暴言を吐いたり、暴力をふるったりしてしまう

ある教室の中で・・・

B君（小学校4年生）は同じ学級のC君とのトラブルがたえません。授業中、C君が言ったことを否定したり、文句を言ったりしています。否定的な言葉を言われたC君が言い返すと「逆ぎれ」し、暴言を浴びせます。給食や清掃中など一緒の場面があると、何かにつけてトラブルに陥ります。担任の先生が注意がすることで、B君は一層、暴力的になり、先生はほとんど疲れきっています。



どうしてだろう？

- 気持ちの切り替えができにくく、感情（自己）をコントロールすることが苦手？
- 行動の見通しが持てない？
- こだわりが強く、友達のことが気になって仕方ない？
- 「カッ」となりやすい？
- （担任の先生どんなタイプかな？）
- トラブルが起こったときの注意の仕方が適切ではなく、指摘が多い？
- B君は、単にわがままなだけで、「トラブルメーカー」であるとのレッテルを張っている？
- C君や他の児童の中にもB君を「カッ」とさせてしまいやすい言動があることに気づいていない？



今日からできる一工夫

- ①「カッ」としたときには、どうすればよいのかをB君と一緒に考える。
→ 深呼吸や運動などのストレスマネジメント
- ②B君が冷静になれる場所をつくり、トラブルの原因をよく本人から聞き取り、絵や関係図に描いて説明する。
- ③学級全体の中でルールやマナーを共有化する。
- ④B君だけではなく、学級全体の問題としてとらえる。
- ⑤やってはいけないことや攻撃的・破壊的で危険な行為は、強く短くしかる。（説教は逆効果）

◎発達障がいのある児童生徒の中には、その行動から「～してはいけません」「～してはダメ」などの否定的な言葉を浴びせられているために、否定語を聞いただけで、「カッ」となり反抗的な態度をとることもあります。教師の姿勢として、常日頃から、子どもを肯定的にとらえ、良いところを見つけながら、コミュニケーションをとっていききたいものです。